

【p90～p93】 ささべざくら —笹部新太郎—

1 資料活用にあたって

- 笹部さんの努力に焦点を当てると内容項目はA(5)であるが、本資料は笹部さんが抱いていた大きな夢に焦点を当て、内容項目をC(15)で扱う。
- 先人を素材とした資料の場合、努力を続けることは誰しもあることで、その努力のみ書いてある資料はA(5)で扱い、努力を支えた大きな夢が描かれている場合は、その夢で内容項目を定める。

2 資料の読み方のポイント

- 変化するのは:あすかちゃん(子どもがあすかちゃんになって考えられるように発問を工夫する。)
- 変化するきっかけ(助言)は:おばあちゃんのささべ桜にまつわる話
- 変化するところは:「おばあちゃんが手のひらにのせてくれたきれいなさくらを見ている」

3 読み物資料の素材について

【参考URL】

- ・ 六稜大阪学講座「笹部桜考」
<http://www.rikuryo.or.jp/home/column/sasabe.html>
- ・ 櫻守の会
<http://www.sakuramori.net/category/934603-1.html>

【訪れたい場所】

- ・ 自然公園「桜の園・亦楽山荘」(宝塚市切畑)
- ・ 白鹿記念酒造博物館
〒662-0926 兵庫県西宮市鞍掛町8-21 Tel.0798-33-0008
- ・ 岡本南公園(神戸市東灘区)
- ・ 西宮市北山緑化植物園(西宮市北山町)
- 笹部桜について
 - ・ 神戸市東灘区にあった笹部邸の庭に生えた実生の桜で、カスミザクラとオオシマザクラ系のサトザクラの交配種。(現在は、「岡本南公園」として神戸市により整備されている。)
- 笹部新太郎について
 - ・ 大阪の堂島に生まれた笹部氏は東京帝国大学法科(元東京大学法学部)在学中から桜の研究をはじめ、本来の日本の桜であるサトザクラ、ヤマザクラの保護育成に生涯を捧げた。
 - ・ 1912年、兄から譲り受けた土地(宝塚市切畑長尾山)に演習林を作り、サクラの品種保存や接ぎ木などの研究を行った。当時は、全国から集められたヤマザクラやサトザクラが30種、5000本以上も植えられていた。笹部氏は、この演習林を「亦楽山荘(えきらくさんそう)」と名付けたが、現在では「桜の園」として知られている。
 - ・ 戦争中には、若い園丁たちが次々に兵隊にとられ、演習林の管理が充分にできなくなると、物資不足の世の中で毎日のように盗難被害にあった。
 - ・ 戦後もしばらく物不足の状況は続き、出征した園丁たちの多くは戻ってこなかった。その上、農地改革で資産を大幅に減らし、今まで所有していた土地を守ることに苦勞した。その後は、経済的にも年齢的にも、それまでのように多量の植樹を行えなくなり、アドバイザーとしての活動が主になった。
 - ・ 大阪造幣局の通り抜けの桜、西宮夙川、甲山周辺の桜の管理指導など多くの桜に関する事業を手掛けたが、なかでも1960年に行われた岐阜県御母衣ダムの建設で、水没する荘川桜(エドヒガン、樹齢400年)の移植は世界の植林史上においても稀有の業績と評価されている。
また、桜に関する書画や美術工芸品、書物などを数多く収集し、それらの資料は西宮市に寄贈され、現在、財団法人白鹿記念酒造博物館付設笹部さくら資料室に所蔵されている。
 - ・ 水上勉氏の小説「櫻守」に登場する「竹部庸太郎」は、笹部氏をもモデルにしている。

4 展開の具体例

ささべざくら — 笹部新太郎 —

- ・ **主 題 名** ・ふるさとのために C (15)
- ・ **資料の概要** ・おばあちゃんとお花見に来たあすかは、「笹部桜」という名前の桜の木の存在を知る。そして、あすかは、桜の名前の由来となった笹部さんの苦労や頑張りについての話をおばあちゃんから聞く。きれいな桜を目の前にして、桜を守り育てるために努力を続けた笹部さんの気持ちを考えながら、二人は笑顔を輝かせた。
- ・ **ね ら い** ・おばあちゃんから笹部桜にまつわる話を聞いて道徳的に変化するさやかを通して、郷土に愛着を持つ道徳的心情を育てる。
- ・ **展開の具体例**

	学習活動	主な発問と予想される児童の反応
導 入	・今日の資料に興味を持つ	お花見に行ったことがありますか。
展 開	・教師の範読を聞きながら黙読をする。 ・桜を見上げた時の主人公の気持ちを考える。	「すごいなあ。」と言って大きな桜を見上げた時、あすかちゃんはどんなことを思ったのでしょうか。 ・桜に名前がついているなんてすごいな。 ・桜を守って未来に残そうとしたんだね。
	・ささべさんの思いを想像している主人公の気持ちを考える。	あすかちゃんは、ささべさんのどんな気持ちがわかったのでしょうか。 ・放っておいたらこの美しい桜がなくなってしまう。 ・昔からこの場所にある美しい桜を守りたい。 ・ふるさとのみんなに桜を楽しんでほしい。
	・きれいな桜を見てほほえむ主人公の気持ちを考える。	おばあちゃんと顔を見合せてにっこりほほ笑んでいるあすかちゃんはどんなことを思っているのでしょうか。 ・ささべさん、今年もお花を見せてくれてありがとう。 ・わたしもふるさとの宝物を守っていくからね。
終 末	・感じたことを発表する。	感じたことを発表しましょう。

おばあちゃんから笹部桜の名前の由来を聞き、主人公が笹部さんのことを漠然と「すごい人だな」と感じていることをつかませる。

手のひらの一輪の桜を見つめながら、「ふるさとの桜を守って未来に残そう」という気持ちで笹部さんが頑張り続けたことに主人公が気付いたことをおさえる。

笹部さんの姿を思い浮かべ、ふるさとのことを大切に思う気持ちを強めている主人公の心情の高まりをおさえる。